

春季特別展

野口雨情展

— 童話・民謡詩人の巨匠 — 開催中

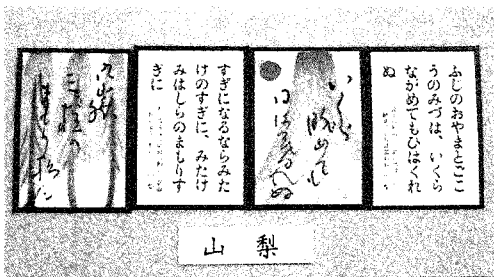


問合先
都留市博物館

「ミュージアム都留」

☎(45) 80008

☎(45) 86008



山梨

全国民謡かるた (復刻)

昭和に入り、地方民謡の創作ブームが巻き起こると共に、雨情のもとに各地から民謡創作の依頼が舞い込むようになります。「その土地へ行って実際の自然の情景を見なければだめだ。心に浮かぶ、そこで見た、感じたことが詩になる。」そういつて雨情は作曲家の中山晋平や藤井清水らと共に各地に赴きました。

御嶽保存会によって依頼された「甲州音頭」はこうして作られた地方民謡の一つであり、山梨をうたった作品にはこのほかに、桂川や猿橋がうたい込まれた「郡内小唄」、温泉を宣伝した「下部小唄」などがあります。

こうして創作された民謡は数百編にのぼり、これらの中から今回の展示資料の一つである「全国民謡かるた」が生まれました。北海道から沖縄にいたる全国四十七都道府県に、樺太、台湾、朝鮮を加えた五十箇所が歌われています。各地それぞれ二篇からなる計百編のかるたの取り札は、深い味わいをたたえた川端龍子の絵のなかに、雨情自身の字で詩句が書かれています。

作品の創作とともに童謡・民謡の普及にも心血を注いだ雨情は、全国を音楽会や講演会をして廻りました。

大正十四年七月には谷村町立尋常小学校(現都留市立谷村第一小学校)で「童心の芸術について」と題した講演をおこなっています。その折に谷村で即興で詠んだ歌が、大正十四年七月十六日付けの山梨日日新聞に掲載されています。

谷村谷底南も北も西も東も山ばかり

谷村よいとこ甲斐絹の本場 娘やりたや縁ほしや

夕ぐれこぐれ お城山くれる谷村のこども はよ家かへれ

雨情は新しい土地を訪れたとき、まず高いところからその土地を見下ろしたといいますから、あるいはお城山に登って谷村の町を一望したのかもかもしれません。

こうして雨情は人生の後半を旅に明け暮れ、訪れた地には後に雨情に因んで詩碑や像が建てられました。その数は全国で約百九十基にのぼります。今回これらの詩碑の写真を、詩に関わるエピソードや詩碑建立の経緯の紹介と共に展示しています。雨情の作品がそれぞれの地でいかに大切にされ、愛され続けているかを感じていただければ幸いです。



生徒たちを前に講演する雨情

会期
6月24日(日)まで
開館時間
午前9時～午後4時30分
(入館は4時まで)
最終日のみ午後7時まで開館
休館日
毎週月曜日・第三火曜日
入館料
一般
600円(420円)
高校・大学生
400円(280円)
小・中学生
200円(140円)
(内は、20名以上の団体料金)

童謡を歌う会

野口雨情の作品ほか、懐かしい童謡を歌います。事前の申し込みは必要ありません。お気軽にご参加ください。
日時 6月3日・10日
午後1時30分～2時30分

会場 当館
エントランスホール
協力 都留市合唱連盟

館内の燻蒸のため
6月25日(月)～30日(土)
休館します

▼次回企画展のお知らせ

夏休み子ども企画

「ハローキティと

ゆかいな仲間たち」

子どもたちが、博物館と親しむ機会になるよう、子どもから大人まで人気のあるハローキティとその仲間たちの原画や昔なつかしいグッズの数々を紹介します。

会期

7月1日(日)～

8月26日(日)まで

開館時間

午前9時～午後4時30分

(入館は4時まで)

休館日

毎週月曜日・第三火曜日

入館料

一般

300円(210円)

高校・大学生

200円(140円)

小・中学生

100円(70円)

(内は20名以上の団体料金)

